

# 「後悔しないために」

## 気仙沼 市民有志 防潮堤の勉強会設立

堤防計画に対する疑問や不安を解消するため、気仙沼市の市民有志が「防潮堤を勉強する会」を設立した。今月8日から9月18日まで計10回の勉強会を開催し、地域の将来を左右する堤防計画に市民が積極的に関わる環境を整えていく。

行政主催の説明会は難しく、このまま計画が進めば後悔が残ると、市震災復興会議や市民委員会のメンバー、経営者ら29人が発起人となって設立。6日に事務局の菅原昭彦さんらが記者会見し、目的やスケジュールなどを発表した。

設立趣意については、「海と共に生きる未来を選択する上で、津波災害への備えは万全でなければならぬ。最良の対策を実現するためには、防潮堤の防災効果、弱点、地域への影響を熟考する必要がある」などと説明した。

さらに「防潮堤建設への反対運動ではなく、復旧・復興を遅らせるものでもない」と強調した上で、「後世に遺恨、後悔を残さないため、責任を持つてこの問題に取り組まなければならない。創造性のない復興は衰退につながる」と語った。

勉強会は防潮堤に関して幅広く学ぶ場とし、行政の考え方やルールなどの基礎知識をはじめ、巨大堤防の減災効果などを取り上げる。各地域の現状と課題の報告、菅原茂市長との意見交換も予定している。情報共有するためのホームページも開設する。

菅原さんは「自分たちの孫子の代にきちんと言明できるプロセスをたどるためには、市民も勉強しなければならぬ」と参加を呼び掛けている。月内の日程は次の通り。

▽8日午後6時から気仙沼市場―行政から基本的な流れとルールの説明。畠山和純県議が「議会の経緯」を講話▽14日午後4時から場所未定―各地区の堤防計画の説明▽16日午後1時から市役所―巨大堤防と各種堤防の検証。市長との意見交換など

▽19日午後3時から場所未定―各地区の現状・課題報告▽24日午後6時から市役所―同▽29日午後6時から魚市場―専門家の話

2012年8月7日付  
「三陸新報」2面